

アクア・トト ぎふ

「カスミサンショウウオの卵」展示につきまして

アクア・トトぎふ（岐阜県各務原市 館長 堀由紀子）の4階で展示されているカスミサンショウウオが産卵し、親とともに卵を展示することになりましたので、お知らせいたします。

当館での卵の展示は昨年と一昨年に引き続き3年連続となります。

カスミサンショウウオのような小型のサンショウウオは、現在のところ国内に18種が知られています。いずれもふだんは落ち葉や腐葉土の下で生活していますが、繁殖期になると池や田んぼ、溪流など水のある所へ移動し、寒天質の卵のうに包まれた一対の卵を水中に産み付けます。種によって卵のうの形は様々です。

今回、展示いたします卵は、平成20年1月10日に産み付けられたもので、ひとつの卵のうの大きさは約5cmで、中には50個ほどの卵が入っています。発生が進めば、卵の成長の様子をご覧いただけます。また、通常は約2週間でふ化いたします。

「カスミサンショウウオの卵の展示」

- 展示日：平成20年1月17日（木）～
- 場 所：岐阜県世界淡水魚園水族館“アクア・トト ぎふ”
4階、カスミサンショウウオの水槽内に設置したポケット水槽
※入館料金のみでご覧いただけます。



産みつけられた卵

カスミサンショウウオ

学名：*Hynobius nebulosus*

英名：Clouded salamander

分類：サンショウウオ目サンショウウオ科

分布：岐阜県、愛知県以西の本州と高知県、宮崎県をのぞく四国と本州

低い山の落ち葉や腐葉土の下に隠れ、早春、浅い池や水たまりなどの止水に移動し産卵する。卵のうはバナナ状、もしくは小さく巻いたひも状。肉食性で小さな虫やミミズなどを食べる。

里山の半自然的な場所に生息している本種であるが、近年このような場所が急激になくなりつつあり、彼らの生息地が脅かされている。

本種は岐阜県のレッドデータブックに絶滅危惧Ⅰ類として記載されており、さらに、岐阜市の「自然環境の保全に関する条例」では貴重野生動物植物種の3種のうちの1種として指定され、捕獲などが禁じられている。また、環境省のレッドデータブックには京都、大阪の個体群が絶滅のおそれのある地域個体群として記載されている。

<この件に関する報道関係の方からのお問い合わせは>

岐阜県世界淡水魚園水族館 担当/北川・高木・堀江真子 TEL:0586-89-8200 FAX:0586-89-8201
※営業時間外のお問合せは 0586-89-8202

<お客様からのお問い合わせ先は>

岐阜県世界淡水魚園水族館(アクア・トト ぎふ) TEL:0586-89-8200 FAX:0586-89-8201
公式ホームページ <http://www.aquatotto.com>

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町 1453 河川環境楽園内